

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		重症児デイサービス ハルノヒ		公表日		令和7年 3月 20日	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			死角を減らし、目が行き届くように空間を活用している	・スペースは適切であるが、利用児の年齢に合わせたスペースの確保も必要 ・バギーの移動動線を確保してより安全に過ごせるように工夫が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			・利用児数に合わせて調整されている ・1:1の関わりができるよう配置されている ・利用児の医療濃度にあわせて看護職員の配置を意識している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		段差など無く、移動しやすい	トイレは狭く介助がしづらい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		1	毎日清掃及び椅子・テーブル等の消毒を行っている	玩具の消毒を定期的に行いたい
業務 改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	1	毎月ミーティングを行いその都度目標や成長の様子、課題を確認している	職員同士のコミュニケーションは常に取れているが、他職種間での連携が少し足りないと感じるところがある。
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	1		パート勤務のため不明
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	1		第三者評価の実施については実施しておらず、今後の課題とする
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			・研修会など積極的に参加している ・職員が外部研修を受けやすいように勤務調整、受講料補助を行っている ・受講後は研修の内容を他スタッフに共有している	
適切 な 支 援	9	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			ガイドラインにそって支援プログラムを作成し、ホームページにて公表している	
	10	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			・日々の様子を記録し、支援計画書作成時に使用している ・他事業所やリハビリの様子など見学へ行き、情報共有を行いながら支援計画を作成している	
	11	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			児童発達支援管理責任者が作成した計画を元に、児童指導員、看護職員も参加するミーティングで話し合い、検討を行っている	
	12	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			ガイドラインにそって支援プログラムを作成し、ホームページにて公表している	
	13	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		・特別支援学校教育要領や、保育の発達などを確認している ・アセスメントツールを使用して、周知している。	
	14	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			職員同士で日々アセスメント、支援について話し合いを行い、計画を立てている	
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・ミーティング時に活動を事前に考えて行っている ・ミーティングの中で、アイデアを出し合い決め、準備担当を決めている。	

の提供	チェック項目	はい			工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
の提供	16 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動を行えるように月全体を見て作成している</li> <li>・季節に合わせた活動を行ったり、SNSを参考にしながら、さまざまな活動を取り入れている。</li> <li>・季節に合わせた活動を多く取り入れ、実施している</li> </ul>	
	17 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリスタッフや児童指導員で専門的支援計画を作成した個別で活動したり、集団での活動を行ったり必要に合わせて実施している</li> <li>・支援目標やその日の様子に合わせて、個別で活動したり、集団でコミュニケーションを取りながら活動したりしている。</li> </ul>	
	18 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の活動の流れを朝のミーティング時に行っている</li> <li>・朝のミーティング時に確認している。</li> </ul>	
	19 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日利用者の様子を記録として残している</li> <li>・反省点や方針などを適宜話し合い、振り返りを行っている</li> </ul>	
	20 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			連絡帳や、チャットワークを使用して記録している	
	21 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			毎月のミーティングで個別支援計画に沿って利用児の様子を共有し、計画の見直しが必要かを検討している	
関係機関や保護者との連携	22 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			児童発達支援管理責任者をはじめ、医療ケアのあるお子様の会議には看護職員が出席している	
	23 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・開所時にご挨拶に伺った</li> <li>・主治医やかかりつけ医療機関がすぐに分かるよう、フェイスシートに記入いただいている</li> </ul>	
	24 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	25 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて助言をいただいている</li> <li>・見学へ行き、様子を見たり情報を共有したりしている</li> </ul>	
	26 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公園へ行き交流している</li> <li>・活動する機会はまだないが、公園へ行って地域の子供と交流する機会があった</li> </ul>	生活リズムや医療的ケアのスケジュールの関係等で中々そういった機会が作りづらい印象
	27 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳にて様子を文字のみでなく写真でもお伝えしている</li> <li>・送迎時などに話をしたり、LINEなどで連絡をとっている</li> <li>・連絡帳だけでなく、送迎のタイミングでコミュニケーションを取るよう意識している</li> </ul>	
	28 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	1		ペアレントトレーニングや研修会の実施は今後の課題とする
	29 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時に説明を行っている。特に通所のご利用が初めてのご家庭には利用者負担(利用料)の流れについても説明するようにしている	
保	30 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			半年に一度の面談時の保護者の意向や、お子様の普段の様子を踏まえてサービスの提供をするよう努めている。	
	31 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			半年に一度の面談時に、個別支援計画を提示しながら支援内容の説明を行っている。	
	32 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				

護者への説明等	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	どちらとも いえない	いいえ			
33	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			保護者会を開催している		
34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5					
35	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			Instagramにて活動の様子を定期的に配信している		
36	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5					
37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1				
38	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	1	勤労感謝の日には、地域の交番のお巡りさんや、普段お世話になっている公園の方へ感謝のお手紙を手渡し交流を計った	事業所内での地域住民との交流については今後の課題とする	
非常時等の対応	39	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			定期的に訓練を行い、反省会、記録をしている	
	40	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・毎月様々な災害発生を想定して行っている ・定期的に行っている	
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			服薬情報、発作の有無や態様をご家族に聞き取り、職員間で共有している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5				
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1			
	44	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		2	3		安全計画についてご家族との共有ができていない。今後の課題とし、早急に対応を進める
	45	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5					